

ミツバ グループ グリーン購買 ガイドライン

環境に関するお取引先への要求事項



2011年 4月

株式会社 ミツバ

はじめに

21世紀に入り社会全体が環境問題への認識を一段と高めており、企業にも循環型社会の構築を強く求めてきています。

私たちは「社会が真に望んでいることは何か」を常に念頭においた環境経営を進めなければならないと考え、経営の最重要課題のひとつとして環境負荷の低減に取り組んできました。

私たちの製品は、多くのお取引先から納入して戴く部材を使って生産しています。そのため環境負荷の低減を図るためには、私たちだけの環境管理活動では十分とはいえず、お取引先を含めたサプライチェーンでの環境管理活動が必要不可欠です。

また最近、グローバル生産、グローバル販売がますます進んでおります。

私たちはこのたび「ミツバ グリーン購買ガイドライン」をミツバグループ共通の「ミツバ グループ グリーン購買ガイドライン」と改正し、国を問わない サプライチェーンの環境マネジメントシステムの整備と環境負荷の低減を進めて参ります。

21世紀に相応しい地球環境保全への取組みに対し、是非ともご理解ご協力を宜しくお願い申し上げます。

目 次

1. 当ガイドラインの位置づけ	4
2. ミツバグループの環境に対する基本姿勢.....	5
2.1 ミツバグループの企業理念	5
2.2 ミツバグループの環境宣言	6
2.3 ミツバグループの行動指針	7
3. ミツバグループの環境に対する取組み	8
3.1 環境マネジメントシステムの構築.....	8
3.2 環境負荷物質の管理	8
4. グリーン購買の考え方	8
5. お取引先への要求事項	9
5.1 環境マネジメントシステムの整備.....	9
5.2 環境負荷物質の管理	9
5.2.1 適用対象.....	9
5.2.2 規制化学物質.....	9
5.2.3 環境負荷物質 管理体制.....	9
5.3 環境負荷物質の調査	9
5.3.1 環境負荷物質 非含有エビデンスの提出.....	9
5.3.2 材料の全成分データの提出.....	10
5.3.3 特定化学物質の使用調査.....	10
5.4 購入品に関する適合宣言	10
6. 添付資料	11
7. お問い合わせ先	11

1. 当ガイドラインの位置づけ

このミツバグループ グリーン購買ガイドラインは、ミツバグループ会社共通の環境に対する基本姿勢を明らかにすると共に、ミツバグループ会社からお取引先への要求事項を表明したものです。

このミツバグループ グリーン購買ガイドラインを用いる会社は、以下の30社です。

日本 (10社)		(株)ミツバ
		(株)タツミ
		東日本ダイカスト工業(株)
		(株)モミモ
		(株)東葉電機製作所
		(株)サンユー
		(株)大嶋電機製作所
		(株)アムコ
		(株)落合製作所
		(株)宮崎ミツバ
アメリカ (8社)	U.S.A.	American Mitsuba Corporation
		CME L. L. C.
		CME Automotive L. L. C.
		Mitsuba Bardstown, Inc.
	Mexico	Tokyo Electrica de Mexico, S. A. DE C. V.
		Corporacion Mitsuba de Mexico, S. A. DE C. V.
		Partes de Precision Mitsuba de Mexico, S. A. DE C. V.
Brazil	Mitsuba do Brasil Ltda.	
欧州 (3社)	Italy	MITSUBA ITALIA S.p.A
	Hungary	Mitsuba Automotive Systems of Europe Kft.
	France	Mitsuba Manufacturing France S.A.
アジア (6社)	Thailand	Thai Summit Mitsuba Electric Manufacturing Co., Ltd.
	Philippines	Mitsuba Philippines Corporation
	Vietnam	Mitsuba M-Tech Vietnam Co., Ltd.
	India	Mitsuba Sical India Ltd.
		P.T. Mitsuba Indonesia
Indonesia	P.T. JIDECO Indonesia	
中国 (3社)	中華人民共和国	広州三葉電機有限公司
		三葉電器(大連)有限公司
		三葉士林電機(武漢)有限公司

ミツバグループの会社は、株式会社 ミツバの Website をご覧ください。(<http://www.mitsuba.co.jp>)

2. ミツバグループの環境に対する基本姿勢

2.1 ミツバグループの企業理念

基本理念

ミツバは、ミツバを愛しささえる人々とともに、
社会と環境に調和した技術の創造を通して、
世界の人々に喜びと安心を提供する。

経営理念

1. 選ばれる企業をめざし、ミツバブランドを世界に拡げる。
2. 技術をドライビングフォースとし、市場創造に挑戦する。
3. 人を活かし、人に生かされる企業となる。

行動理念

夢 挑戦 スピード

私たちは、夢をもち、果敢に挑戦し、行動のスピードをあげます。

企業メッセージ

心 ひろがる技術

環境宣言

私たちは、社会と環境に調和した技術開発を通して、

自然環境との継続的な共生を図り、豊かで安心で

きる環境の実現をめざします。

一．私たちは、開発、生産、販売すべての企業活動

において、資源・エネルギーの節約に努めます。

一．私たちは、廃棄物、汚染物質の削減と適正な

処理に努めます。

一．私たちは、地域環境との調和を図り、安心でき

る生活環境の保全に努めます。

株式会社ミツバ 代表取締役社長



1993年5月11日 制定
1997年9月17日 改訂

2.3 ミツバグループの行動指針

行動指針は、「環境宣言」を行動に移すための具体的な指針です。

行 動 指 針

1. 限りある資源の節約と有効利用を図ります。
2. 全ての企業活動を通してエネルギーの節約を進め、地球温暖化防止への責任を果たします。
3. オゾン層を守るため、オゾン破壊物質の代替を図ります。
4. 製品への使用を含め、化学物質の適正管理と有害化学物質の使用廃止を図ります。
5. 環境マネジメントシステムを整備し、法規制より厳しい社内基準の遵守に努めます。
6. 環境に関わる社会活動に積極的に参加します。

株式会社ミツバ 代表取締役社長



1993年5月11日 制定
1997年9月17日 改訂
2007年8月24日 改訂

3. ミツバグループの環境に対する取組み

3.1 環境マネジメントシステムの構築

ミツバグループは、地球環境保全を経営の重要課題と考え、1997年から事業所のISO14001環境マネジメントシステムの構築を進め、継続的な環境負荷低減の取組みを推進しています。

これらの活動は、地球温暖化防止、排出物のリサイクルによる省資源に始まり、各会社・各部門の業務に関する環境負荷低減を含めた活動になっています。

今後、ISO14001環境マネジメントシステムが意図する継続的な環境負荷の低減を果たすためには、商品の生産段階は元より、使用、廃棄段階に関するライフサイクルアセスメント(LCA)の視点が重要となり、これに取り組んで参ります。

3.2 環境負荷物質の管理

1992年のリオサミット(国連環境開発会議)にて「アジェンダ 21:有害化学物質の適正管理」が採択されて以降、化学物質の管理、特に自動車や家電製品の廃棄物に含まれる有害物質の管理が、各国の重大な関心事項になっています。

自動車関係では「欧州ELV指令 2000/53/EC」、他に「RoHS指令 2002/95/EC」、「特定の危険物の使用・販売に関する指令 76/769/EEC」及び日本の「化審法」、「欧州REACH規制 EC 1907/2006」などです。

このような状況に対応する為に私たちは、製品含有化学物質の管理と、サプライチェーン全体の環境負荷物質管理システムの構築を進めて参ります。

4. グリーン購買の考え方

従来は、お取引先に品質・コスト・納期の面でご協力を戴いてきました。

いま社会が、私たちの商品に求めることは、サプライチェーンを含めた調達、生産、使用、廃棄のライフサイクルでの環境負荷の低減です。

具体的には、商品の化学物質管理、省資源、省エネルギー、環境汚染の未然防止です。

これらの要求に応えるために、グリーン購買について、ご協力を御願い致します。

5. お取引先への要求事項

5.1 環境マネジメントシステムの整備

- (1) ISO14001 もしくはこれに準ずる環境マネジメントシステムを構築してください。
- (2) 日本におけるエコアクション21、エコステージ、環境マネジメントシステムスタンダード(KES)は、ISO 14001 の認証取得と同様に、環境マネジメントシステムを構築しているものと見なします。
- (3) 同様に、各国の中小企業向けの負担の軽い規格も容認します。
- (4) 認証未取得の場合には、環境保全に関する活動を進めてください。
(目標と実行計画の策定、役割分担、法規遵守、エネルギー削減、廃棄物削減、緊急事態対応、化学物質管理、環境教育、監査など)
詳細は、別紙 3「環境マネジメントシステム自己診断書」に示します。

5.2 環境負荷物質の管理

5.2.1 適用対象

- (1) 環境負荷物質の管理対象は、ミツバグループの会社が調達するものです。
 - a 材料・部品……自動車部品用途以外も含みます。また試作品も含みます。
 - b 副資材……はんだ、接着剤、グリス、工作油、テープ、マーカーなどです。
 - c 梱包資材……段ボール箱の他に、緩衝材やバンド・インクなどを含みます。

5.2.2 規制化学物質

- (1) GADSL(Global Automotive Declarable Substance List: 別紙4参照)に記載された規制に適合する様に管理をお願いします。
- (2) ミツバの図面に記載してある「MES A 015」の規制内容は、「GADSL」と同等です。

5.2.3 環境負荷物質 管理体制

- (1) 環境負荷物質の管理体制を整備してください。
(役割分担の明確化、人材育成、管理基準、仕入先管理、部品管理、内部監査など)
詳細は、別紙 4「環境負荷物質 管理体制 要求事項」を参照願います。
- (2) 当社にて、環境負荷物質の管理体制の監査を行なわせて頂くことがあります。

5.3 環境負荷物質の調査

5.3.1 環境負荷物質 非含有エビデンスの提出

- (1) 当社のお客様からの提出要請に応じて、または当社が必要と判断した場合に、環境負荷物質非含有エビデンス(別紙4参照) の提出をお願いします。
- (2) 環境負荷物質非含有エビデンスとは、環境負荷物質の含有量が閾値以下の含有であることを示す分析データです。対象となる物質は、原則 ELV 指令の4物質(Pb, Cd, Hg, Cr6+)です。その他の物質で必要とする場合は、別途御相談させていただきます。
- (3) 当社のお客様から、分析装置の種類や分析機関の ISO17025 認証、分析実施日、使用言語などを指定された場合は、その都度お願いいたします。

5.3.2 材料の全成分データの提出

- (1) 全成分データとは、IMDS や JAMA/JAPIA 統一データシート等のツールで報告される納入品の材料別全成分データです。(別紙4参照)
- (2) 全成分データとして、材料の構成成分の報告をお願いします。特に GADSL に記載された成分は、指定された閾値を超えた含有がある場合は意図的、非意図的に関らず、必ず報告してください。
- (3) お取引先の機密保持上、全てを開示できない場合は、最大10%以内で MISC(その他)として開示しないことが認められています。この場合は MISC と開示成分の総計を 100%にしてください。
尚、MISC には GADSL 記載の禁止物質及び要報告物質は絶対に含めないでください。
- (4) GADSL が変更されて、MISC として非公開だった成分が申告物質になった場合は、再報告をお願いします。
- (5) 全成分データはサプライチェーンを通して、最終的には原材料メーカーからのデータ収集が必要となりますので、報告要請に関らず日頃から納入品に関してデータ収集管理をお願い致します。また、全成分データは各種の法規適合性確認及び情報公開義務として必要なため、提出日程の遵守にご協力をお願い致します。

5.3.3 特定化学物質の使用調査

- (1) 各国の化学物質に関する法規制の動きから、お客様を通じて あるいは当社の判断により、特定の化学物質の使用有無の調査をお願いすることがあります。原材料メーカーへ問合せしていただき、調査回答に、ご協力をお願いいたします。

5.4 購入品に関する適合宣言

- (1) お取引先が当社に納入戴いている「購入品」は、“GADSL”で禁止されている化学物質を含有していないこと、及び要報告物質は指定された閾値を超えた場合に使用量の申告をすることを宣言して戴きます。
- (2) 当社のお客様からの提出要請に応じて、または当社が必要と判断した場合に、適合宣言の提出をお願いします。
- (3) 添付資料 別紙 2 「ミツバ化学物質規制適合宣言書」にて、ご報告をお願い致します。

6. 添付資料

- (1) 別紙 1「ミツバ化学物質規制適合宣言書」
- (2) 別紙 2「環境マネジメントシステム自己診断書」
- (3) 別紙 3「SOC 管理体制 要求事項」
- (4) 別紙 4「環境負荷物質の解説」
- (5) 別紙 5「GADSL」:2010 年 3 月現在

ミツバグループ グリーン購買ガイドラインは、株式会社 ミツバのホームページにて公開しています。
<http://www.mitsuba.co.jp/purchase/index.htm>

7. お問い合わせ先

このガイドラインに関するお問い合わせは、以下の宛先へ日本語か英語でお願い致します。

(株)ミツバ 購買第二部購買企画管理課 宛
E-mail : greenkobai@mitsuba.co.jp
TEL:0277-52-0171 FAX:0277-54-6920

別紙 1

株式会社 ミツバ 購買部 行 (ミツバの場合)

ミツバ化学物質規制 適合宣言書

当社は、現在納入している、又は将来納入する購入品（原材料・部品・補助材料・商品・機器・用品）について、” GADSL: Global Automotive Declarable Substance List”に定める使用禁止物質を含有していないこと、及び要報告物質は使用量の多少に関わらず申告すること を宣言致します。

また、GADSL の将来の改訂において、追加される使用禁止物質及び要報告物質についても本ガイドラインを遵守することを宣言致します。

記入日

取引先名

責任者名

印

別紙2 環境マネジメントシステム自己診断書

(ISO14001等の認証が無い場合は記入してください。)

No.	項目	ISO 要求項目 (参考)	評価基準	評価
1	環境方針	環境方針(4.2)	1)環境保全に対する企業理念がある。	
			2)環境保全に対する方針を定め、継続的改善及び汚染の予防について誓約している。	
			3)環境方針で法規制の遵守について誓約している。	
			4)方針は文書化し全従業員に周知され、第三者も入手できる。	
2	計画・組織	目的、目標及び実施計画(4.3.3)	1)方針を達成するための目的・目標がある。	
			2)目的・目標を達成するための組織・推進責任者が明確になっている。	
			3)目的・目標を達成する為の手段・方法等の実行計画がある。	
3	環境影響 評価・運用 管理	環境側面(4.3.1) 運用管理(4.4.6) 監視及び測定 (4.5.1)	1)事業活動が以下の項目に与える影響を評価・特定し、改善に努力している。 ①大気汚染 ②水質汚濁 ③騒音・振動 ④使用禁止物質(規制化学物質リスト 参照) ⑤廃棄物 ⑥エネルギー(電気・ガス・燃料等の使用量)	—
			2)特定された事象(設備・作業含む)について管理者を定め、管理している。	
			3)環境への負荷の少ない製品を提供するための製品アセスメントの仕組みがある。	
			4)環境に関連する法律・条例及び業界規範等を特定し、管理している。	
4	コンプライアンス	法的及びその他の要求事項(4.3.2) 順守評価(4.5.2)	2)環境関連法規に係る施設・設備について適正管理している。	
			1)環境保全に関する緊急事態への対応を整備し、手順を確立している。	
5	リスク管理	緊急事態への準備及び対応(4.4.7)	1)環境管理システムに関する不適合が発生した場合、是正・予防措置を達成させるための手順を確立している。	
6	啓蒙・教育・情報公開	力量、教育訓練及び自覚(4.4.2) コミュニケーション(4.4.3)	1)組織内の人に目標を達成するために必要な教育訓練事項を整理し、実施している。	
			2)環境に著しく影響を与える作業に従事する者には、別途教育訓練を実施し、作業リストを作成している。	
			3)外部に対して自社の環境保全に関する情報を公開している。	
7	不適合対応	不適合並びに是正及び予防処置(4.5.3)	1)計画の進捗状況、目標の達成状況を自ら評価し、経営者へ報告している。	
8	自己評価	環境マネジメントシステム監査(4.5.5) マネジメントレビュー(4.6)	2)自己評価の結果を環境方針、計画・組織へ反映させて、継続的な改善を図っている。	
			1)前出の設問を実行するための責任と手順を定め、文書化している。	
9	文書管理	文書類(4.4.4)	1)前出の設問を実行するための責任と手順を定め、文書化している。	

□ 評価欄には、次のとおりに記入して下さい。(はい:○ いいえ:× 対象外:—)

別紙3 環境負荷物質 管理体制 要求事項

1. 組織

- a 環境負荷物質(以下 SOC)管理について、社内の役割分担を決めてください。
例:法規・顧客要求の管理、仕入先の指導・管理(必要な場合)、データ入力・管理、他。

2. 方針

- a SOC 管理について、経営者が社内へ方針を指示してください。例:品質/環境方針や朝礼。
- b 必要な場合、部材による SOC 含有リスクの大きさを決めてください。(リスクが大きい部材を使用する場合)
※当社の経験では、途上国産の樹脂・塗装・インク・マーカー・テープ・めっきはリスクが大きく、特に塩ビは生産国に関係なくリスクが大きいです。

3. 人・設備

- a 社内に SOC の法規や顧客要求に対して適合/不適合を判断できる者を養成してください。
- b 自動車業界ツールである IMDS 又は JAMA シート(別紙4参照) を操作できる者を養成してください。
- c SOC について、業務内容に応じた適切な社員教育を行なってください。
- d SOC の分析ができるようにしてください。(社内機器又は社外分析機関)

4. 管理基準

- a SOC に関する法規や顧客要求事項、自社の管理項目を社内へ伝達してください。

5. 顧客対応

- a 顧客の要求に応じて、材料の全成分データや非含有エビデンスを提出してください。
※全成分データ:材料化学成分の仕様。非含有エビデンス:ELV 指令 4物質の分析結果。
- b 顧客要求への回答は、遅れが無いように管理してください。(遅れる場合は連絡してください。)

6. 製品設計

- a 該当する場合、製品設計のアウトプットにて、SOC の管理を指示してください。例:図面や仕様書。(製品設計を行なっている場合)

7. 工程設計

- a 工程設計のアウトプットにて、SOC の管理を指示してください。例:QC 工程表、作業標準。
(マーカーやインク等の副資材・輸出用梱包材を含む。)
- b 該当する場合、誤使用・混入・汚染・化学変化に配慮してください。例:めっきやはんだ付け。(誤使用・混入・汚染・化学変化によるリスクが存在する場合)

8. 購買

- a 仕入先の選定や継続評価の項目に、SOC の管理状況を入れてください。
- b 仕入先へ自社の SOC 管理基準を伝えてください。例:グリーン購買ガイドライン。
(仕入先が十分な知見を持っていると判断できる場合を除く。)
- c 必要な場合、仕入先の管理状況を書類や訪問等で確認してください。
- d 仕入先へは早期に全成分データ、非含有エビデンス(必要な場合)を要求してください。
※全成分データは車両の型式認定要件になりつつあり、量産開始前に必要になってきています。
- e 入手した全成分データ等は、個人管理でなく社内の共有データとして管理してください。

9. 監視・測定

- a 材料・部品のリスクに応じて、SOC が含有していないことを確認してください。
※材料の全成分データ入手や、非含有エビデンスの入手、または社内外での分析。

10. 履歴管理

- a 該当する場合、トレーサビリティ(材料・部品の使用履歴)を管理してください。

11. 変更管理

- a 社内工程の変更、仕入先や材料を変更する場合に、変更内容に応じて SOC の確認を行なってください。
例：工程確認、全成分データ・非含有エビデンス入手、材料の分析、仕入先工程確認。

12. 不適合品

- a SOC の問題発生時の手順を決めてください。例：不適合品管理規定。
- b SOC の問題発生時には、顧客へ報告してください。

13. 評価・改善

- a 定期的に社内の SOC 管理状態を監査してください。
例：製品設計・工程設計・購買・製造・検査・出荷等の部門。
- b 監査した結果は、経営者へ報告し、必要な改善を実施してください。

14. SOC の分析方法

- a 非含有エビデンスの分析方法は、以下の分析方法としてください。定性分析法・定量分析法の両方を容認します。

但し、当社のお客様から、分析方法が指示されている場合は、そのつど連絡します。

	対象元素	分析法
定性分析法	鉛、カドミウム、水銀	蛍光 X 線分析法
	六価クロム	蛍光 X 線分析法、IEC 62321（スポット法）
	臭素系難燃剤 (PBB、PBDE)	蛍光 X 線分析法
定量分析法	鉛、カドミウム、水銀	誘導結合プラズマ法（ICP）、原子吸光分析法(AAS)
	六価クロム	ジフェニルカルバジド吸光度法 EN 15205、I SO 3613
	臭素系難燃剤 (PBB、PBDE)	ガスクロマトグラフ質量分析装置（GC/MS）

b 定性分析での留意事項

- ・ 蛍光 X 線分析で総クロム/総臭素が閾値以下の場合は、規制対象となる六価クロム/臭素系難燃剤も閾値以下と判定します。
- ・ IEC 62321 の六価クロム分析法（スポット法）は 200ppm 程度で発色しますので、六価クロムの「含有無し」を判定するには有効です。可否の判定には定量分析が必要です。

c 定量分析での留意事項

- ・ 六価クロムの分析方法として、EN 15205、I SO 3613 の両方も容認します。
ただし六価クロムの含有率の計算においては、クロメート皮膜中の六価クロム含有量を計算してください。
(一部の分析機関は、(亜鉛層+クロメート皮膜層)中の六価クロム含有量を計算していますが、これは多くの顧客に受け入れられません)。
- ・ EN 15205 による分析結果と I SO 3613 による分析結果が両方ある場合は、多くの顧客が推奨する EN15205 の結果を優先してください。
- ・ EN 15205 による判定基準は、 $0.1 \mu\text{g}/\text{cm}^2 = 0.1\% = 1,000\text{ppm}$ とします。

d 六価クロム含有量の計算例

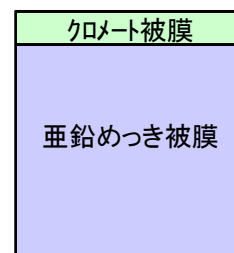
- ・表面積50cm²のめっき品試料から**5 μg** の六価クロムを抽出した。
(抽出量=5 μg ÷ 50cm² = 0.1 μg/cm²)

- ・クロメート皮膜は、厚さ0.2 μm、比重5g/cm³とする。
※出所: JIS H8625-1993「電気亜鉛めっき及び電気カドミウムめっき上のクロメート皮膜」

- ・50cm²の試料のクロメート皮膜の総重量・・・亜鉛めっき被膜重量は含めない。
=面積(50cm²) × クロメート皮膜厚さ(0.2 μm) × 比重(5g/cm³) = (50cm²) × (0.00002cm) × (5g/cm³)
=0.005g = **5,000 μg**

よって、クロメート皮膜中の六価クロム含有率Pは、 $P = 5 \div 5,000 = 0.001 = 0.1\% = \mathbf{1,000ppm}$

すなわち、クロメート皮膜の厚さ: 0.2 μm、比重: 5g/cm³の場合、
面積当たりの六価クロム抽出量 0.1 μg/cm²は、重量比 1,000ppm と同等になる。



別紙 4 解説

1. 全成分データ

(1) 全成分データとは、「環境データ」と呼ばれることもある使用材料の構成成分のデータです。

例 1. 冷間圧延鋼板 SPCC の標準的な成分。

成分		CAS No.	含有率(%)
Iron	鉄	7439-89-6	99.55
Manganese	マンガン	7439-96-5	0.30
Carbon	炭素	7440-44-0	0.075
Phosphorus	リン	7723-14-0	0.050
Sulphur	硫黄	7704-34-9	0.025

例 2. ガラス 20%入り PET 樹脂の成分例。

成分		CAS No.	含有率(%)
Polyethylene Terephthalate	ポリエチレン テレフタレート	25038-59-9	71
GF-Fiber	ガラスファイバー	-	20
Misc., not to declare	その他	system	9

- (2) 環境負荷物質の調査では全成分データ以外に部品の質量や再生材の使用率なども報告が必要です。
- (3) 全成分データは、材料の成分仕様です。材料メーカーへお問い合わせ願います。
- (4) 材料の成分によっては、使用が禁止されていたり、使用する場合は報告を義務づけられている場合があります。
- (5) お取引先の機密保持上、全てを開示できない場合は、最大10%以内で MISC(その他)として開示しないことが認められます。この場合は MISC と開示成分の総計を 100%にしてください。
尚、MISC には GADSL 記載の禁止物質及び要報告物質は含めてはいけません。

2. GADSL

- (1) GADSL (Global Automotive Declarable Substance List) とは、日米欧の自動車、自動車部品、化学メーカーで制定した、自動車業界共通の管理化学物質リストです。<http://www.gadsl.org/>
- (2) GADSL 記載の化学物質は、3種類に区分されています。
- P (Prohibited) : 禁止物質・・・指定閾値を超過した含有、意図的な含有は認められません。
- D (Declarable) : 要報告物質・・・含有量に関わらず含有量を報告してください。
- P/D (Prohibited /Declarable) :・・・化学物質・用途により異なります。

例えば、アスベストは P で全面使用禁止、鉛は P/D でバッテリー等の一部の用途以外は使用禁止 です。

3. IMDS

- (1) IMDS は、全成分データを効率的に収集するシステムです。
- 新型車の環境負荷物質、使用済み自動車やリサイクル率に関する規制などを含んだ EU ELV 指令に対応するため、自動車を構成する約 3 万点の部品の材料および含有化学物質情報をサプライチェーンを通じて収集するためのシステムです。<https://www.mdsystem.com/>
- (2) IMDS はオンラインシステムですので、インターネットに常時接続する必要があります。
また、企業 ID の登録等が必要です。

4. JAMA/JAPIA 統一データシート

- (1) JAMAシート(正しくはJAMA/JAPIA 統一データシート)は、IMDSと同じ目的で、(社)日本自動車工業会(JAMA)と(社)日本自動車部品工業会(JAPIA)にて合意された帳票です。 <http://www.japia.or.jp/>
- (2) JAMAシートはオフラインシステムですので、最初にインターネットに接続してJAMAシートをダウンロードした後は、常時接続する必要がありません。
- (3) JAMAシートはIMDSに準拠しています。

5. 環境負荷物質 非含有エビデンス

- (1) 環境負荷物質非含有エビデンスとは、材料の環境負荷物質の含有分析結果です。
環境負荷物質とは、通常はEU ELV指令の対象物質である鉛・カドミウム・水銀・6価クロムです。
顧客によっては、EU RoHS指令の対象物質である臭素系難燃材のうちのPBB、PBDEを加えている場合があります。
- (2) MSDS(製品安全データシート)は、それを取り扱う人達向けの取り扱い説明書であって、構成成分が粗く非含有エビデンスとしては不十分です。
MILシートも同じく不十分です。MILシートは、鉛やカドミウムの非含有を示す分析結果ではありません。

6. 参考:環境負荷物質トラブル事例

- (1) 六価クロムフリーへ切替えなかった補用品を、誤って量産品へ使用した。
- (2) 環境対応以前の古い材料(ビニール)を使用した。
- (3) 蛍光X線分析装置で臭素を検出し、不合格と判定した。(分析方法が不適切)

7. 参考:環境負荷物質の過去の使用例

健康や生態系に大きな影響を与える環境負荷物質ですが、有用な側面も持っています。過去には様々な用途に使用されました。(一部は今も使われています。)

このことは低い技術水準で材料のリサイクルを行うと、再生材料には環境負荷物質が含まれる可能性があるということを示します。

- (1) 鉛は、柔らかいことから水道管や鉛散弾・玩具、釣りのおもりや有鉛ガソリンに使われました。
自動車では、鉛バッテリーやホイールバランスのウェイト、はんだ、軸受、電球ガラス、塗料・プラスチックの安定剤や赤色・黄色の着色剤、ゴムの加硫促進剤・安定剤、グリース、カーボンブラシや快削鋼に使われました。
- (2) カドミウムは、カドミウムめっきやニッカド充電電池、塩化ビニールの安定剤や着色剤、黄銅の不純物、銀ろうの不純物に含まれました。
塩化ビニールの再生材は、環境負荷物質含有のリスクが非常に大きいです。
- (3) 6価クロムは皮化工や顔料に使われましたが、今は亜鉛めっきのクロメート皮膜の管理が必要です。誤って6価クロム品を出荷しないようにしてください。

以上

別紙5「GADSL」:2010年3月現在

Exhibit 5 "GADSL" as of Mar. / 2010

このリストは、化学物質の群を示します。詳細はGADSLのサイト(<http://www.gadsl.org/>)を参照してください。
This list shown chemical substance group, see GADSL website (<http://www.gadsl.org/>) for detail.
このリストは定期的に改正されます。
This list revises periodically.

P (Prohibited) : 禁止物質、D (Declarable) : 要報告物質
閾値は記載がなければ 0.1%
When blank, Threshold is 0.1%

No.	Substance (物質名)	物質名 (和名:ミツバ追記)	CAS-No.	Classification (管理区分)	Source (Legal requirements, regulations), specified condition (法の必要条件、法規定、特定条件)	Threshold (閾値)
1	Acetaldehyde	アセトアルデヒド	75-07-0	D	EU-R 1272/2008 /EEC	
2	Acetamide	アセトアミド	60-35-5	D	EU-R 1272/2008 /EEC	
3	Acetamide, N-methyl-	アセトアミド N-メチル	79-16-3	D	Classified as toxic to reproduction class 2 according to EU-R	0.10%
4	Acetonitrile	アセトニトリル	75-05-8	D	EU-R 1272/2008 /EEC	
5	Acrylamide	アクリルアミド	79-06-1	D	EU-R 1272/2008 /EEC	
6	Acrylonitrile	アクリロニトリル	107-13-1	D	EU-R 1272/2008 /EEC	
7	Amines, carcinogenic, which are formed from Azo-dyes, selected	アゾ染料から形成されて選択された発癌性があるアミン		P	EU-D 2002/61/EC	The list of affected Azo-dyes is continuously updated at: List B: Auf dem Weltmarkt nicht erhältlich (are not allowed) http://www.vci.de/template_download/tmp_VCIInternet/AzoTR614_DokNr-115196-p-101.pdf
8	Amines, which can form carcinogenic Nitrosamines, selected	発癌性のあるニトロソアミンを形成できるアミン		D	Legally regulated according to german TRGS 615. Limit for all secondary Amines in volatile corrosion inhibitors, which can form carcinogenic Nitrosamines. Volatile corrosion inhibitors include papers, plastic films and	
9	4-Aminobiphenyl and its salts, all members	4-アミノビフェニルとその塩		P	EU-R 1272/2008 /EEC, carcinogen class 2 EU-D 76/769/EEC	0.01%
10	Ammonium Perchlorate	塩素酸アンモニウム	7790-98-9	D	Pyrotechnical compound	
11	Aniline and its salts, all members	アニリンとその塩		D	EU-R 1272/2008 /EEC	
12	Antimonytrioxide (Diantimonytrioxide)	三酸化アンチモン (三酸化ニアンチモン)	1309-64-4	D	EU-R 1272/2008 /EEC	
13	9,10-Anthracenedione, 1-[(5,7-dichloro-1,9-dihydro-2-methyl-9-oxopyrazolo[5,1-b]quinazolin-3-yl)azo]-		74336-60-0	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49 - December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the <i>Canadian Environmental</i>	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
14	Aromatic amines, selected	芳香族アミン		D		0.1%
15	Arsenic and its compounds, all members	砒素とその化合物		D	EU-R 1272/2008 /EEC EU-D 76/769/EEC	0.01% (unless present in metals & alloys, then the declaration limit is 0.05%).
16	Asbestos Fibres, all members	アスベスト繊維		P	EU-D 76/769/EEC Definition of asbestos fiber for counting purpose by OSHA in 1992 ; Particle with a length >5 μm, a diameter of <3μm and aspect ratio (length : width) >3 : 1	Any intentionally added content
17	Asbestos Minerals, all members	アスベスト鉱物		D	Potential to form Asbestos fibres (see entry Asbestos fibres)	
18	Barium compounds (organic or water soluble), selected	バリウム化合物 (有機化合物あるいは水溶性化合物)		D	EU-R 1272/2008 /EEC	1%
19	Benzidine and its salts, all members	ベンジジンとその塩すべて		P	EU-R 1272/2008 /EEC, carcinogen class 2 EU-D 76/769/EEC & Canadian Toxic Substances Regulation	0.01%, see details for Canada specific
20	Benzene	ベンゼン	71-43-2	D/P	EU-D 76/769/EEC	0,01% for physical solid state parts. 0,1% in fuels
21	Benzenamine, N-phenyl-, reaction products with styrene and 2,4,4-trimethylpentene	アルキルジフェニルアミン	68921-45-9	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49 - December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the <i>Canadian Environmental</i>	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
22	1,4-Benzenediamine, N,N' -mixed Ph and tolyl derivs	ハイドロキノン、o-トルイジン、アニリン化合物	68953-84-4	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49 - December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the <i>Canadian Environmental</i>	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
23	2-Benzothiazolesulphenamide, N, N-dicyclohexyl-	N, N-サイクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェナミド	4979-32-2	D	Japan (Chemical Substances control Law) Type I Monitoring Chemical Substance	Any intentionally added content must be reported
24	Beryllium and its compounds, all members	ベリリウムおよびその化合物		D	EU-R 1272/2008 /EEC	
25	Biocidal coatings / biocidal additives, selected	殺虫性塗布剤/殺生剤		D	EU-D 2032/2003/EC	Any intentionally added content

No.	Substance(物質名)	物質名(和名:ミツバ造記)	CAS-No.	Classification(管理区分)	Source(Legal requirements, regulations), specified condition (法的必要条件、法規定、特定条件)	Threshold(閾値)
26	Bis(chloromethyl) ether (BCME)	ビス(クロロメチル)エーテル	542-88-1	P	Prohibition of Certain Toxic Substances Regulations, 2005 (SOR/SOR/2005-41. Published in Canada Gazette Part II, 2006-11-29 Vol. 140, No. 24	Any intentionally added content
27	Butadiene, 1,3 -	1, 3 ブタジエン	106-99-0	D	EU-R 1272/2008/EEC	
28	Cadmium and its compounds, all members	カドミウムおよびその化合物	7440-43-9	D/P	EU-D 2000/53/EEC EU-R 1272/2008 /EEC EU-D 76/769/EEC	0,01% for impurities, any intentionally introduced content must be reported
29	Chlorinated hydrocarbons, selected	塩素化炭化水素		D/P	Multiple (see below). Several chlorinated hydrocarbons listed are not explicitly prohibited in applications associated with manufactured articles, however, within the EU there is a general regulatory presumption toward substitution for industrial uses	
30	Chlorinated or brominated Dioxins or Furans, all members	塩素化および臭素化ダイオキシンあるいはフラン		P	ChemVerbotsV	Content above 10 ppb
31	Chlorinated Paraffins, Short & Medium Chain Length (SCCP, MCCP), all members: Note that the use of specific CAS numbers for these substances differs throughout the world. Example CAS numbers are provided below; however, other	短鎖及び中鎖の塩化パラフィン(SCCP, MCCP): これらの物質の特定のCAS番号の使用が世界中で異なることに注意してください。ロングリストにCAS番号を提供します。しかしながら、他のCAS番号が使用されるかもしれません。		D/P	EU-D 76/769/EEC	1%
32	Chloroaniline	クロロアニリン	106-47-8	D	EU-R 1272/2008 /EEC	
33	Chloromethyl methyl ether (CMME)	クロロメチルメチルエステル (CMME)	107-30-2	P	Prohibition of Certain Toxic Substances Regulations, 2005 (SOR/SOR/2005-41. Published in Canada Gazette Part II, 2006-11-29 Vol. 140, No. 25	Any intentionally added content
34	Chloro-fluoro-carbons (CFC) and other Ozone depleting substances, all members	クロロフルオロカーボン (CFC) およびその他のオゾン層破壊物質	-	P	EU-R 2009/1005, EPA ODP class 1	
35	Chromium(VI)-salts, all members	六価クロム化合物	14977-61-8	D/P	EU-R 1272/2008 /EEC EU-D 2000/53/EEC	0,1% for impurities, any intentionally introduced content
36	Cobalt and its compounds, all members	コバルトおよびその化合物	7440-48-4	D	EU-R 1272/2008 /EEC	Cobalt compounds and alloys, excluding cobalt in steels
37	Colophony (Rosin), selected	コロホニー (ロジン)		D	ACGIH worldwide - Documentation of the TLVs and BEIs with other Worldwide Occupational Exposure Values; No current regulations but substance of concern in dispersive friction material applications due to environmental impact potential; could be subject to future	
38	Copper (metallic)	銅 (金属)	7440-50-8	D		
39	Cyclododecane, hexabromo-(HBCD)	ヘキサブロモシクロデカン	25637-99-4	D	EU risk assessment	
40	Cyclohexane	シクロヘキサン	110-82-7	D	EU-R 552/2009	
41	2-Cyclohexen-1-one, 3,5,5-trimethyl-	イソホロン	78-59-1	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49 - December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the Canadian Environmental	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
42	Cyclopentasiloxane, decamethyl-	シクロペンタシロキサン,デカメチル	541-02-6	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49 - December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the Canadian Environmental	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
43	Cyclotetrasiloxane, heptamethylphenyl-	シクロテトラシロキサン,ヘプタメチルフェニル	10448-09-6	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49 - December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the Canadian Environmental	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
44	Cyclotetrasiloxane, octamethyl-	オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49 - December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the Canadian Environmental	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
45	Decanedioic acid, bis(1,2,2,6,6-pentamethyl-4-piperidinyl)ester	デカノ酸ビス(1,2,2,6,6-ペンタメチル)エステル	41556-26-7	D	Canadian Priority List in 2008, and Producers, importers and related industry in Canada have to submit information on production or import amount.	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.

No.	Substance(物質名)	物質名(和名:ミツバ表記)	CAS-No.	Classification(管理区分)	Source(Legal requirements, regulations), specified condition (法的必要条件、法規定、特定条件)	Threshold(閾値)
46	Diamino-diphenylmethane (4,4'-Diaminodiphenylmethane)	ジアミノ-ジフェニルメタン (4,4'-ジアミノ-ジフェニルメタン)	101-77-9	P	EU-R 1272/2008 /EEC	
47	Dichloropropanol (1,3-Dichloro-2-propanol)	ジクロロプロパノール (1,3-ジクロロ-2-プロパノール)	96-23-1	D	EU-R 1272/2008 /EEC	
48	Dimethylformamide (N,N-Dimethylformamide)	N,N-ジメチルホルムアミド	68-12-2	D	1999/137/EC 91/689/EEC	
49	Diorganotin compounds	有機スズ化合物	CAS	D	EU-R 1272/2008 /EEC	
50	Dodecachloropentacyclo 1, 3, 4-Metheno-1H-cyclobuta(cd)pentalene, Mirex	ドデカクロロペンタシクロ [5.3.0.0(2,6).0(3,9).0(4,8)]デカンマイレックス	2385-85-5	P	Prohibition of Certain Toxic Substances Regulations, 2005 (SOR/SOR/2005-41. Published in Canada Gazette Part II, 2006-11-29 Vol. 140, No. 24	Intentional addition prohibited
51	Epichlorohydrin (1-chloro-2,3-epoxypropane)	エピクロロヒドリン (1-クロロ-2,3-エポキシプロパン)	106-89-8	D	EU-R 1272/2008 /EEC	
52	Ethanol, 2-(2-methoxyethoxy)-	ジエチレングリコールモノメチルエーテル	111-77-3	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49 - December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the Canadian Environmental	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
53	1-ethenylpyrrolidin-2-one (2-Pyrrolidione, 1-ethenyl-)	N-ビニル-2-ピロリドン	88-12-0	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49 - December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the Canadian Environmental	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
54	Ethyl- / Methyl-Glycols and their Acetates	エチレングリコールモノ (エチル/メチル) エーテルおよびそのアセテート類		D	EU-R 1272/2008 /EEC	
55	Fatty acids, C6-19-branched, Zinc salts	C6-19 分枝脂肪酸の亜鉛塩	68551-44-0	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49 - December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the Canadian Environmental	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
56	Fluorotelomers, selected	フッ素テロマー	Some substances may not have CAS#s	D	Stewardship Program to reduce facility emissions and product content of PFOA, its higher homologues, and related chemicals including precursors (see column B) on a global basis by 95 percent no later than year-	0.1% by mass of treated article eg carpet, upholstery, other textiles
57	Formaldehyde	ホルムアルデヒド	50-00-0	D	EU-R 1272/2008 /EEC	Any intentionally added content of formaldehyde must be reported. Formaldehyde in any material, which may be emitted under reasonable and foreseeable conditions, must be qualitatively indicated
58	2-Furancarboxaldehyde	フルフラール	98-01-1	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49 - December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the Canadian Environmental	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
59	Halons, all members	ハロン		P	EU-R 594/91/EEC	
60	Hexachlorobenzene	ヘキサクロロベンゼン	118-74-1	D/P	Prohibition of Certain Toxic Substances Regulations, 2005 (SOR/SOR/2005-41. Published in Canada Gazette Part II, 2006-11-29 Vol. 140, No. 24	P if ≥ 20ppb/ D if ≥ 10 ppb
61	Hexachloro-1,3-butadiene (HCBd)	ヘキサクロロ-1,3-ブタジエン	87-68-3	P	Prohibition of Certain Toxic Substances Regulations, 2005 (SOR/SOR/2005-41. Published in Canada Gazette Part II, 2006-11-29 Vol. 140, No. 24	Intentional addition prohibited
62	Hexachlorocyclohexane, gamma isomer, Lindane	ヘキサクロロシクロヘキサン	58-89-9	D	GefStoffV with Annex IV Nr. 5	
63	Hexanedioic acid, bis(2-ethylhexyl) ester	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	103-23-1	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49 - December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the Canadian Environmental	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
64	Hexanoic acid, 2-ethyl-	2-エチルヘキサン酸	149-57-5	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49 - December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the Canadian Environmental	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.

No.	Substance(物質名)	物質名(和名:ミツバ造記)	CAS-No.	Classification(管理区分)	Source(Legal requirements, regulations), specified condition (法的必要条件、法規定、特定条件)	Threshold(閾値)
65	Hydrazine	ヒドラジン	302-01-2	D	EU-R 1272/2008 /EEC	
66	Hydrobromofluorocarbons (HBFC's), all members	ハイドロブロモフルオロカーボン; HBFC's:		P	Montreal Protocol; EU-R 2009/1005; US EPA Class I ODS	
67	Hydrochlorofluorocarbons (HCFC's), all members	ハイドロクロロフルオロカーボン; HCFC's		D/P	Montreal Protocol; EU-R 2009/1005; US EPA Class II ODS	
68	Hydrofluorocarbons (HFC's), all members	ハイドロフルオロカーボン; HFC's:		D/P	Kyoto Protocol	
69	Lead and its compounds, all members	鉛およびその化合物		D/P	EU-D 2000/53/EEC	0,1% for impurities, any intentionally introduced content
70	Mercury and its compounds, all members	水銀およびその化合物		D/P	EU-R 1272/2008 /EEC EU-D 2000/53/EEC EU-R 1272/2008 /EEC EU-D 76/769/EEC	0,1% for impurities, any intentionally introduced content must be reported
71	Methanol	メタノール	67-56-1	D	Norway, Sweden (SFS 1985:840; SFS 1986:8), Denmark, Finland	
72	2-Methoxyethanol	2-メトキシエタノール	109-86-4	P	Prohibition of Certain Toxic Substances Regulations, 2005 (SOR/SOR/2005-41. Published in Canada Gazette Part II, 2006-11-29 Vol. 140, No. 24	Prohibited ≥ 0.5% w/w in Diethylene glycol methyl ether. Any intentionally added content in hard parts
73	Methylacrylamidomethoxyacetate	メチルアクリルアミドメトキシアセテート	77402-03-0	D	EU-R 1272/2008 /EEC	
74	1-methylpyrrolidin-2-one (2-Pyrrolidinone, 1-methyl)	N-メチル-2-ピロリドン	872-50-4	D	EU-R 790/2009	
75	Mineral fibres (Natural or Synthetic) except Continuous Filament Fibres, all members	連続的な長繊維以外のセラミック繊維 (天然及び合成繊維)		D	World Health Organization for definition of respirable fiber, and IARC monograph 81, 2002, for Man-Made vitreous fibers	All fibers or fibrils 5 microns or less, in diameter, with a length:diameter ratio equal to or greater than 3:1
76	Monomethyldibromodiphenylmethane	モノメチルジブロモジフェニルメタン (DBBT)	99688-47-8	D	EU Directive 76/769/EEC	
77	Monomethyldichlorodiphenylmethane	モノメチルジクロロジフェニルメタン	81161-70-8	D	EU Directive 76/769/EEC	
78	Monomethyltetrachlorodiphenyl methane	モノメチルテトラクロロジフェニルメタン	76253-60-6	D	EU Directive 76/769/EEC	
79	Naphthalene	ナフタレン	91-20-3	D	EU Directive 1272/2008 /EEC, Canadian Challenge Batch 1	Report any known concentration
80	2-Naphthalenol, 1-[(4-methyl-2-nitrophenyl)azo]-	ビグメントレッド3(1-(4-メチル-2-ニトロフェニルアゾ))	2425-85-6	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49-December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the Canadian Equipment Act	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
81	2-Naphthylamine and its salts, all members	2-ナフチルとその塩すべて		P	EU-R 1272/2008 /EEC, carcinogen class 2 EU-D 76/769/EEC	0.01%
82	Nickel and its compounds, all members	ニッケルおよびその化合物		D	EU-D 76/769/EEC	
83	Nitrites, all members	亜硝酸塩		D	EU-R 1272/2008 /EEC	
84	4-Nitrobiphenyl and its salts	4-ニトロビフェニルとその塩すべて		P	EU-R 1272/2008 /EEC, carcinogen class 2 EU-D 76/769/EEC	0.01%
85	Nitrocellulose	ニトロセルロース	9004-70-0	D	Pyrotechnical compound	
86	N-Nitrosamines, selected	ニトロソアミン		D/P	legally regulated according to German TRGS 552 limit for workplace air (value 1 µg/m3), TRGS 615 limit for volatile corrosion inhibitors and TRGS 905 classified as carcinogenic class 1. Legally regulated for corrosion	
87	Nonylphenol	ノニルフェノール	25154-52-3	D	EU Directives 1272/2008 /EEC, 76/769/EEC, Toxic for reproduction-Category 3. Possible risk of harm to the unborn child. Possible risk of impaired fertility	
88	Nonylphenol ethoxylates, all members	アルキルフェノールエトキシレート		D	EU-D 2003/53/EC	
89	7-Oxa-3,20-diazadispiro[5.1.11.2]-heneicosan-21-one, 2,2,4,4-tetramethyl-		64338-16-5	D	Canada's Nonyl Phenol Ethoxylate Producers, importers and related industry in Canada have to submit information on production or import amount. Type 2 Monitoring Substance in Japan, that is, persistent substance. Producers and importers of this substance	
90	Pentachlorobenzene	ペンタクロロベンゼン	608-93-5	P	Prohibition of Certain Toxic Substances Regulations, 2005 (SOR/SOR/2005-41. Published in Canada Gazette Part II, 2006-11-29 Vol. 140, No. 24	Any intentionally added content
91	Pentachlorophenol (PCP) and its salts, all members	ペンタクロロフェノール(PCP) とその塩		P	EU-R 1272/2008 /EEC EU-D 76/769/EEC	5ppm

No.	Substance(物質名)	物質名(和名:ミツバ造記)	CAS-No.	Classification(管理区分)	Source(Legal requirements, regulations), specified condition (法的必要条件、法規定、特定条件)	Threshold(閾値)
92	Perchlorates, all members	過塩素酸塩		D	California Assembly Bill No. 826 - Perchlorate Contamination Prevention Act; implemented July 1, 2006. http://www.dtsc.ca.gov/Hazardous	
93	Perfluorooctane sulfonates C8F17SO2X (X = OH, Metal salt, halide, amide, and other derivatives including polymers) (PFOS), all members	パーフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) C8F17SO2X (X=OH、金属塩、ハロゲン化合物、アミド、重合体を含む他の誘導体)		P	76/769/EEC 2006/122EEC (Prohibited from July 1st 2008)	
94	PFOA and its salts, Perfluorooctanoic acids C8F15O2X (X = H, NH4, and Metal salts), all members	パーフルオロオクタン酸とその塩 C8F15O2X (X = H, NH4、金属塩)		D	In January 2006, the EPA created a Voluntary Stewardship Program to reduce facility emissions and product content of PFOA, its higher homologues, and related chemicals including precursors on a global basis by 95 percent no later than year-end 2010, and t	0.1% by mass in components made from fluoropolymers. PFOA is primarily used in the manufacture of fluoropolymers as a polymerization aid. It is not expected to be present at greater than trace levels in the final components made from
95	Phenol	フェノール	108-95-2	D	EU-R 1272/2008 /EEC	
96	Phenol, 2-(2H-benzotriazol-2-yl)-4,6-bis(1,1-dimethylethyl)-	2-(2H-1,2,3-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4,6-ジ-tert-ブチルフェノール	3846-71-7	P	Japan (Chemical Substances control Law)	
97	Phenol, 2,4,6-tris(1,1-dimethylethyl)-	tert-2,4,6-トリブチルフェノール	732-26-3	D	Japan (Chemical Substances control Law)	
98	Phenol, 2-(5-chloro-2H-benzotriazol-2-yl)-4,6-bis(1,1'-dimethylethyl)-	2,4-ジ-tert-ブチル-6-(5-クロロ-2H-1,2,3-ベンゾトリアゾール	3864-99-1	D	Japan (Chemical Substances control Law) Type I Monitoring Chemical Substance	Any intentionally added content must be reported
99	Phenylendiamines and its salts, all members	フェニレンジアミンとその塩		D	EU-R 1272/2008 /EEC EU-D 76/769/EEC Japan (Chemical Substances control Law)	
100	Phosphonium, triphenyl(phenylmethyl)-, salt with 4,4'-[2,2,2-trifluoro-1-(trifluoromethyl)ethylidene]bis[phenol] (1:1)		75768-65-9	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49 - December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the Canadian Environmental Protection Act, 1999 (CEPA, 1999).. It has got limited evidence	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
101	Phosphoric acid tributylester	リン酸トリブチル	126-73-8	D	December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the Canadian Environmental Protection Act, 1999 (CEPA, 1999).. It has got limited evidence	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
102	Phosphoric acid, tris(2-methylphenyl) ester	トリ-ortho-クレジルリン酸	78-30-8	D	1272/2008 /EWG, toxic and dangerous for the environment	
103	Phthalates, selected	選択されたフタル酸類		D	EU-D 76/769/EEC	
104	Polyamine Curing Agents, selected	ポリアミン硬化剤		D	Not currently regulated but releasable hexamines are relevant to vehicle interior air quality	
105	Polybrominated biphenyls (PBB), all members	ポリ臭化ビフェニル(PBB)		P	EU Commission Regulation 552/2009 (REACH Annex XVII)	
106	Polybrominated diphenyl ethers (PBDE), all members	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)		D/P	EU-D 2003/11/EC	
107	Polybrominated Terphenyls (PBT), all members	ポリ臭化ターフェニル(PBT)		D		
108	Polychlorinated Biphenyls (PCB), all members	ポリ塩化ビフェニル (PCB)		P	EU-D 76/769/EEC	0.005%
109	Polychlorinated Naphthalenes, all members	ポリ塩化ナフタレン		D	Japan (Chemical Substances control Law)	
110	Polychlorinated Terphenyls (PCT), all members	ポリ塩化ターフェニル (PCT)		P	ChemVerbotsV	0.001%
111	Polycyclic aromatic hydrocarbons (PAH; PCAH) in extender oils and extender oils in	エキステンダー油とタイヤのエキステンダー油の選択された多環式芳香族炭化水素(PAH; PCAH)		P	EU-D 2005/69/ EC	1 PPM for Benzo(a)Pyrene and 10 PPM for the sum of all PAHs listed below
112	Propanol, 2-methoxy-	2-メトキシ-1-プロパノール	1589-47-5	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49 - December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the Canadian Environmental Protection Act, 1999 (CEPA, 1999).. It has got limited evidence	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
113	Radioactive substances (including scrap metal contaminants), all members	放射性物質(スクラップ金属のコンタミを含む)		D	Strahlenschutzverordnung (StrSchV)	Above Background Radiation
114	Selenium and its compounds, all members	セレンとその化合物		D	Japan (Waste Disposal and Cleansing Law)	
115	Silica, Crystalline	結晶性シリカ	14808-60-7	D	IARC Group 1 Carcinogen, US National Toxicology Program Probable Human carcinogen	any intentionally added content

No.	Substance(物質名)	物質名(和名:ミツバ造記)	CAS-No.	Classification(管理区分)	Source(Legal requirements, regulations), specified condition (法的必要条件、法規定、特定条件)	Threshold(閾値)
116	Silanamine, 1,1,1-trimethyl-N-(trimethylsilyl)-, reaction products with ammonia, octamethylcyclotetrasiloxane and silica		68937-51-9	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49 - December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the Canadian Environmental Protection Act, 1999.	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
117	Siloxanes and Silicones, di-Me, hydrogen-terminated	両末端H ポリジメチルシロキサン	70900-21-9	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49 - December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the Canadian Environmental Protection Act, 1999.	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
118	Siloxanes and Silicones, Me 3,3,3-trifluoropropyl, Me vinyl,hydroxy-terminated		68952-02-3	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49 - December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the Canadian Environmental Protection Act, 1999.	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
119	Sodium azide	アジ化ナトリウム	26628-22-	D	Pyrotechnical compound	
120	Styrene (Vinyl benzene)	スチレン(ビニルベンゼン)	100-42-5	D	EU Risk Assessment	
121	Styrene oxide (Epoxy styrene)	酸化スチレン(エポキシスチレン)	96-09-3	D	EU-R 1272/2008 /EEC	
122	Sulfur Hexafluoride	六フッ化硫黄	2551-62-4	P	Substance of concern due to global warming potential	
123	Tetrabromobisphenol A	テトラブロモビスフェノールA	79-94-7	D	EU risk assessment	
124	Tetrachlorobenzene, all members	テトラクロロベンゼン	12408-10-5, 84713-12-2	P	Prohibition of Certain Toxic Substances Regulations, 2005 (SOR/SOR/2005-41. Published in Canada Gazette Part II, 2006-11-29 Vol. 140, No. 24	Any intentionally added content
125	Methane, tetrafluoro-	テトラフルオロメタン	75-73-0	P	Statutory Order no. 552 of 2 July 2002 of the Danish Ministry of the Environment	
126	Thallium and its compounds, all members	タリウムおよびその化合物		D	EU-R 1272/2008 /EEC	
127	Thioperoxydicarbonic diamide ((H2N)C(S)2S2), tetramethyl-	テトラメチルチウラムジルスフィド	137-26-8	D	Japan:(Waste Disposal and Cleaning Law)	
128	Toluene	トルエン	108-88-3	D	EU Directives 1272/2008 /EEC, 76/769/EEC, Toxic for reproduction-Category 3. Possible risk of harm to the unborn child.	
129	o-Toluidine generating substances, selected	o-トルイジンを生産させる物質	95-53-4	D	EU-R 1272/2008 /EEC, 76/769/EEC	1.5%
130	Tris(2-chloroethyl)phosphate	リン酸トリス(2-クロロエチル)	115-96-8	D	EU-R 1272/2008 /EEC	
131	Trichlorophenol and its salts, all members	トリクロロフェノールとその塩		D	EU-R 1272/2008 /EEC	
132	Trichloropropane (1,2,3 - Trichloropropane)	トリクロロプロパン (1,2,3 - トリクロロプロパン)	96-18-4	D	EU-R 1272/2008 /EEC	
133	Trimethylphosphate	リン酸トリメチル	512-56-1	D	EU-D 76/769/EEC EU-D 76/769/EEC	
134	Triorganotin compounds all members	トリ有機スズ化合物		P	EU-R 1272/2008 /EEC Chemical Substances Control Law in Japan	
135	Triphenylphosphate	リン酸トリフェニル	115-86-6	D	Flame retardant under review	
136	Tris-(1-aziridinyl) phosphine oxide	トリス-(1-アジリジニル)ホスフィンオキシド	545-55-1	P	EU-D 83/264/EEC	
137	Tris(2,3-dibromopropyl)phosphate [TRIS]	リン酸トリス(2,3-ジブロモプロピル) [TRIS]	126-72-7	P	EU-D 79/663/EEC	
138	Vanadium(V) oxide	五酸化バナジウム	1314-62-1	D	Canada Gazette Vol. 140, No. 49 - December 9, 2006 (Canadian Challenge). The Canadian Challenge is regulated under the Part 5, Section 71, of the Canadian Environmental Protection Act, 1999.	0.1%, Report any intentionally added content. No testing required.
139	Vinyl chloride (Monomer)	塩化ビニル(モノマー)	75-01-4	P	EU-R 1272/2008 /EEC	Threshold 5ppm vinyl chloride monomer in materials